

産経新聞 平成27年2月19日

地震や津波 知識深めて 門真の小学校で防災検定

子供たちに防災についての知識を深めてもらおうと、「ジュニア防災検定」(防災検定協会主催、内閣府など後援)が18日、門真市北巢本町の市立北巢本小学校で行われた。同校の小学5年生38人が受検し、災害の知識や防災の考え方などの問題に真剣に取り組んだ。

この検定は防災検定協会が昨年度スタート。協会によると、これまでに全国の6500人以上の小中学生が受検したという。学校単位での受検もでき、今回の北巢本小での実施は、府内の公立学校では初めて。

検定は初級、中級、上級の3種類。地震や津波など災害の知識などを問う問題を解いたほか、家族で防災について話し合ったことをまとめて提出。さらに今後、防災についての自由研究に取り組み、総得点が70点で合格となる。

同校の5年生はこの日、初級を受検。苗代敏男校長は「受検をきっかけに、防災意識を高めていってほしい」と話した。